

浴衣の評価条件がもたらす印象評価

孫 珠熙（孫 珠熙）・表 奈緒*

Assessment of Impressions of Yukata Based on Evaluation Conditions

Ju-hee SOHN, Nao OMOTE*

Abstract

This study examines how impressions of yukata (casual cotton kimono) are affected by evaluation conditions. The subjects are 124 university students (64 males and 60 females). Using six different yukata samples, a questionnaire survey was conducted based on the SD method (11 bipolar adjective pairs and an eight-point scale). Factor analysis, conducted to clarify the structure of how impressions of yukata are evaluated, extracted two factors - potency (activity) and preference (evaluation) - for folded yukata, and three factors - potency (activity), preference (evaluation), and formality - for torso-worn yukata. Among the 11 bipolar adjective pairs, the top three greatest mean differences in the impressions of the six yukata were found in "feminine vs. masculine," "looking young vs. looking old," and "showy vs. quiet" for yukata in both conditions. It was also found that evaluating yukata when they are worn on the torso allows viewers to gain visual information of the yukata's overall style, making it possible for them to have a wider range of impression evaluations than for folded yukata.

キーワード：浴衣、印象評価、トルソー、SD法、感性

keywords : yukata, assessment of impression, torso, semantic differential method, emotion

I 緒 言

一昔前までは平面構成で作られている和服を身にまとい、日常を送っていた人々も既製服が増えた現在では、ほとんどの人が洋服を着て生活をしている。和服はもともと平面構成で作られているが、帯を締め自分の体に合わせ身に付けることで立体的に着ることができる。そこで、平面的な和服と立体に着られている際の和服のイメージについてどのような印象評価の違いがあるのかを探る。印象評価についての先行研究では、ワンピースの配色条件による印象評価、ブランドの評価条件がもたらす印象の変化などがある。これらの研究によってワンピースの評価条件では、縦の配色よりも色が上の方に配色されるものがおしゃれに見え、ブランドを評価する時には実際に肌に触れて評価するものと目視のみで評価するものでは大きく違いがあることが明らかになった。一方で、浴衣を用いた和服の評価条件の印象変化についての研究はなされていない。

そこで本研究では、平面構成である浴衣を立体的に着装したときの温泉浴衣のイメージの違いを明らかにする。ここでは、温泉浴衣を通して和服の評価条件

件のもたらす印象評価についての研究を進めていく。

II 方 法

2-1 調査方法

本研究では質問紙調査を行った。富山大学人間発達科学部学生124名（男子64名、女子60名）に6種類の温泉浴衣を畳んだ状態とトルソーに着せた状態とで見せ、SD法による8段階尺度（1非常に、2かなり、3やや、4わずかに、5わずかに、6やや、7かなり、8非常に）で対になる形容語11項目についてそれぞれ評価をしてもらった（表1）。

表1 印象評価の8段階測定尺度11対の形容語

	非 常 に	か なり	や や	わ ず か に	わ ず か に	や や	か なり	非 常 に	
おしゃれな	1	2	3	4	5	6	7	8	やぼったい
美しい	1	2	3	4	5	6	7	8	醜い
派手な	1	2	3	4	5	6	7	8	地味な
若く見える	1	2	3	4	5	6	7	8	老けて見える
個性的な	1	2	3	4	5	6	7	8	平凡な
高級な	1	2	3	4	5	6	7	8	安っぽい
女らしい	1	2	3	4	5	6	7	8	男らしい
フォーマルな	1	2	3	4	5	6	7	8	カジュアルな
現代的な	1	2	3	4	5	6	7	8	古典的な
活発な	1	2	3	4	5	6	7	8	おとなしい
好きな	1	2	3	4	5	6	7	8	嫌いな

*富山大学人間発達科学部人間環境システム学科
環境社会デザインコース 2018年3月卒業

2-2 調査時期と調査対象

調査時期は2016年7月、人間発達科学部男女124名（男子64名、女子60名）を対象に調査を行った。

2-3 試料

温泉浴衣（1 伊勢丹紺色男日本製、2 浜松男チェーン柄、3 遊美浴衣もみじ柄、4 ピンク花柄中国製、5 幾何学模様日本製、6 風香菊ロマン緑紫）の6種類の温泉浴衣をサンプルとして用いた。調査に用いた6種類の温泉浴衣は、伊勢丹百貨店や浜松市で販売されている伝統的な温泉浴衣の中から厳選し購入した。また男女兼用で着られるものや、男女の嗜好が偏らないようサンプルを準備した。

2-4 提示方法

提示方法は、教室にサンプル1～6の温泉浴衣を、畳んだ状態の平面状態（図1）とトルソー（ボディ）に着せた立体状態（図2）で置き、SD法による質問紙に答えてもらった。



図1 温泉浴衣サンプル6種（折りたたんだ平面状態）



図2 温泉浴衣サンプル6種
(トルソーに着せた立体状態)

2-5 分析方法

データの集計・分析にはIBM SPSS Statistics 23.0Jを用い、単純集計や浴衣の平面時・立体時の平均値、浴衣ごとの平面時・立体時の平均値の差の検定（t検定）、因子分析をもとに差異を明らかにした。また、t検定では有意差のあった質問項目を示した。さらに、因子分析では、富山大学124名（男子64名、女子60名）を対象に、各11項目（8件法）を温泉浴衣の平面時・立体時ともに因子の構造を明らかにするために因子分析（主成分分析、バリマックス回転）を行った。

III 結果及び考察

3-1 平面状態で提示した場合の因子分析結果

女子の温泉浴衣平面時の質問項目11項目（8件法）に対して、全体構造を調べるために因子分析を行った。その結果、2因子が抽出された。

第1因子は、「活発な－おとなしい」、「現代的な－古典的な」、「派手な－地味な」、「個性的な－平凡な」、

「若く見える－老けて見える」といった5項目からなっており、活発さや現代的な、派手なといった個性を表す項目が高い負荷量を示していたため、『力量性』の因子と命名した。第2因子は、「美しい－醜い」、「好きな－嫌いな」、「おしゃれな－やぼったい」、「高級な－安っぽい」、「女らしい－男らしい」、「フォーマルな－カジュアルな」といった6項目からなっており、美しさや好みかどうか、おしゃれであるかといった個人の好みに直結するような項目が高い負荷量を示していたため、『嗜好性』の因子と命名した。累積寄与率は59.90%を示した(表2)。

表2 平面状態で提示した場合の因子分析結果(女子)
N=60

評定項目(11項目)	因子負荷量	
	I	II
	力量性	嗜好性
F10 活発な－おとなしい	0.805	0.13
F9 現代的な－古典的な	0.79	0.172
F3 派手な－地味な	0.759	0.396
F5 個性的な－平凡な	0.742	0.027
F4 若く見える－老けて見える	0.69	0.467
F2 美しい－醜い	0.308	0.781
F11 好きな－嫌いな	0.173	0.762
F1 おしゃれな－やぼったい	0.425	0.716
F6 高級な－安っぽい	0.015	0.644
F7 女らしい－男らしい	0.321	0.574
F8 フォーマルな－カジュアルな	-0.411	0.515
[寄与率] 累積寄与率 %	[44.04]	[59.90]

(F:Flat) 主成分分析, バリマックス法

3-2 立体状態で提示した場合の因子分析結果

女子の温泉浴衣立体時での質問項目11項目(8件法)に対して、全体構造を調べるために因子分析を行った。その結果、3因子が抽出された。

第1因子は「活発な－おとなしい」、「派手な－地味な」、「若く見える－老けて見える」、「現代的な－古典的な」、「個性的な－平凡な」、「女らしい－男らしい」の6項目からなっており、若さや派手さなど、活動的なものを示す項目が高い負荷量を示したため、『力量性』と命名した。第2因子は、「美しい－醜い」、「おしゃれな－やぼったい」、「好きな－嫌いな」の3項目からなっており、美しさやおしゃれといった項目が高い負荷量を示したため、『嗜好性』と命名した。第3因子は、「フォーマルな－カジュアルな」、「高級な－安っぽい」といった2項目からなっており、『フォーマル性』と命名した。累

積寄与率は72.66%を示した(表3)。

表3 立体状態で提示した場合の因子分析結果(女子)

N=60

評定項目(11項目)	因子負荷量		
	I	II	III
T10 活発な-おとなしい	0.864	0.157	-0.093
T3 派手な-地味な	0.85	0.266	0.116
T4 若く見える-老けて見える	0.847	0.321	0.024
T9 現代的な-古典的な	0.799	0.215	-0.018
T5 個性的な-平凡な	0.701	0.101	0.176
T7 女らしい-男らしい	0.688	0.216	0.15
T2 美しい-醜い	0.274	0.859	0.176
T1 おしゃれな-やぼったい	0.341	0.855	0.056
T11 好きな-嫌いな	0.186	0.812	0.159
T8 フォーマルな-カジュアルな	0.029	0.023	0.884
T6 高級な-安っぽい	0.117	0.378	0.687
[寄与率] 累積寄与率 %	[48.56]	[63.50]	[72.66]

(T:Torso) 主成分分析, バリマックス法

3-3 平面状態での評定平均値結果(女子60名)

平面状態での質問番号はF1～F11である。

①平面状態での浴衣サンプル1伊勢丹紺色男日本製は、「地味な」、「老けて見える」、「平凡な」、「古典的な」、「おとなしい」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中では最も「平凡」で「古典的」で「おとなしい」浴衣という評価になった。6種の中で「女らしい－男らしい」の項目で中間に位置していることから、女らしくもなく男らしくもないという中性的な浴衣と評価されたといえる。

②サンプル2浜松男チェーン柄は、「やぼったい」、「醜い」、「地味な」、「老けて見える」、「男らしい」、「古典的な」、「おとなしい」、「嫌いな」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中では最も、「やぼったい」、「醜い」、「地味な」、「老けて見える」、「男らしい」、「嫌いな」、浴衣という評価になった。

③サンプル3遊美浴衣もみじ柄は、「地味な」、「老けて見える」、「カジュアルな」、「古典的な」、「おとなしい」、「嫌いな」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中で最も平均値が高いという項目はなかったがサンプル1と同様に6種のサンプルの中でも女らしくもなく男らしくもないという中性的な浴衣と評価されたといえる。

④サンプル4ピンク花柄中国製は、「おしゃれな」、「美しい」、「派手な」、「若く見える」、「女らしい」、「活発な」の形容語で評価が高かった。6種のサン

プルの中では最も、「派手な」、「若く見える」、「女らしい」、「活発な」浴衣という評価になった。

⑤サンプル5幾何学模様日本製は、「個性的な」、「男らしい」、「カジュアルな」、「現代的な」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中では最も「個性的な」、「カジュアルな」、「現代的な」浴衣という評価になった。

⑥サンプル6風香菊ロマン緑紫は、「おしゃれな」、「美しい」、「派手な」、「若く見える」、「女らしい」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中では最も「おしゃれな」、「美しい」、「好きな」浴衣という評価になった。

平面状態で評価された浴衣で特徴的なものとして、最も女性らしく評価されたのは、サンプル4ピンク花柄中国製、サンプル6風香菊ロマン緑紫である一方、最も男性らしく評価されたのは、サンプル2浜松男チェーン柄、サンプル5幾何学模様日本製である。サンプル4ピンク花柄中国製・サンプル6風香菊ロマン緑紫はとともに、パステルカラーであり、かつ、花柄という点が共通している。また6種の温泉浴衣の中でも、サンプル4ピンク花柄中国製・サンプル6風香菊ロマン緑紫の温泉浴衣が「好きな」浴衣と評価された。このことから、女子大生に最も好まれるのは、パステルカラーに花柄の浴衣であることが分かった。そして、男

性らしいと評価されたサンプル2浜松男チェーン柄・サンプル5幾何学模様日本製の温泉浴衣に関しては、「F11の好きなー嫌いな」の項目でどちらとも嫌いな浴衣として評価されている。このことから、「男らしい浴衣」は女子学生には好まれない傾向にあると考えられる。

6種の浴衣を平面状態で視覚評価を行った結果、おしゃれかどうか、派手かどうかという項目ではサンプル間で差が見られたものがあった。一方で、「F6高級なー安っぽい」や「F8フォーマルなーカジュアルな」といった項目ではサンプル間であまり評価の差が出ないという結果になった(図3)。

3-4 立体状態での評定平均値結果(女子60名)

立体状態での質問番号はT1~T11である。

①立体状態でのサンプル1伊勢丹紺色男日本製は、「地味な」、「老けて見える」、「平凡な」、「安っぽい」、「男らしい」、「古典的な」、「おとなしい」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中では最も「地味な」、「老けて見える」、「平凡な」、「男らしい」、「おとなしい」浴衣という評価になった。

②サンプル2浜松男チェーン柄は、「やぼったい」、「醜い」、「地味な」、「老けて見える」、「平凡な」、「安っぽい」、「男らしい」、「古典的な」、「おとなしい」、「嫌いな」の形容語で評価が高かった。6種の

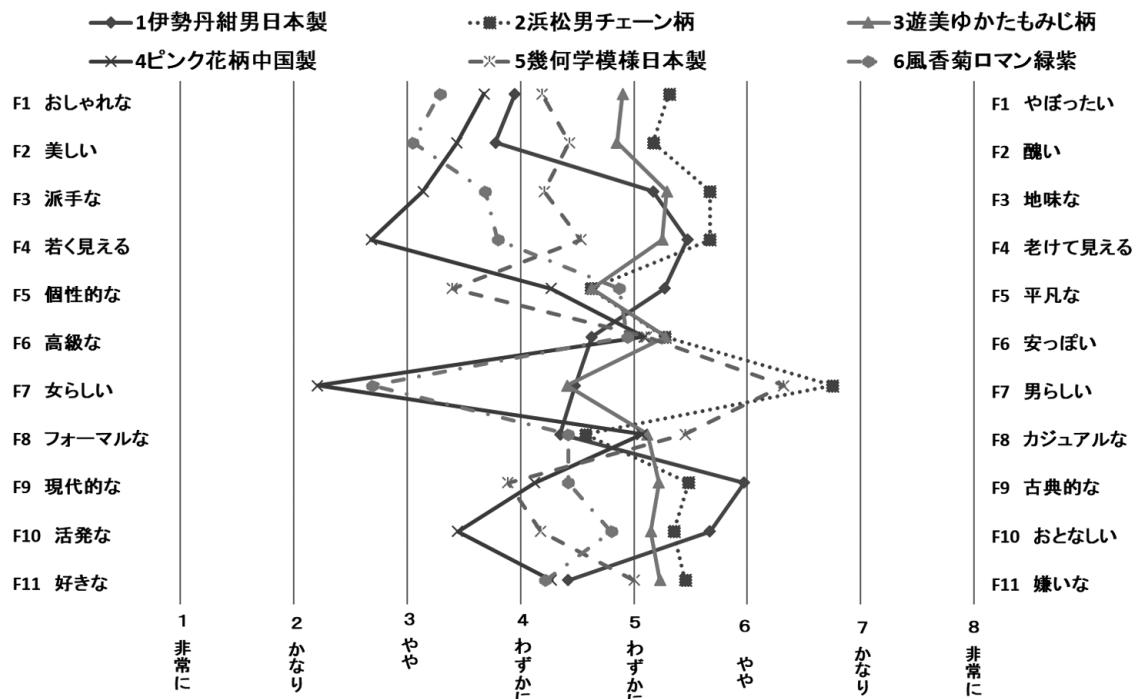


図3 平面状態における温泉浴衣6種評定平均値(F: Flat)(女子)

(N=60)

サンプルの中では最も、「やぼったい」、「醜い」、「安っぽい」、「古典的な」、「嫌いな」浴衣という評価になった。

③サンプル3 遊美浴衣もみじ柄は、「安っぽい」、「カジュアルな」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中では最も「カジュアルな」浴衣という評価になった。

④サンプル4 ピンク花柄中国製は、「おしゃれな」、「美しい」、「派手な」、「若く見える」、「個性的な」、「女らしい」、「現代的な」、「活発な」、「好きな」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中では最も、「派手な」、「若く見える」、「女らしい」、「現代的な」、「活発な」浴衣という評価になった。

⑤サンプル5 幾何学模様日本製は、「おしゃれな」、「美しい」、「派手な」、「若く見える」、「個性的な」、「現代的な」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中では最も「個性的な」浴衣という評価になった。

⑥サンプル6 風香菊ロマン緑紫は、「おしゃれな」、「美しい」、「派手な」、「若く見える」、「個性的な」、「高級な」、「女らしい」、「フォーマルな」、「好きな」の形容語で評価が高かった。6種のサンプルの中では最も「おしゃれな」、「美しい」、「高級な」、「フォーマルな」、「好きな」浴衣という評価になった。

立体状態で評価された浴衣で特徴的なものとして、

サンプル3 遊美浴衣もみじ柄・サンプル1 伊勢丹紺色男日本製は、平面時では中性的な浴衣と評価されたが、トルソーに着せて立体的に評価すると、サンプル3 遊美浴衣もみじ柄では、かなり女らしいという評価になった。一方で、サンプル1 伊勢丹紺色男日本製は、6種の中で最も男らしいという評価になった。また、平面時でサンプル間の中であまり差が見られなかった「高級な-安っぽい」の項目では、立体状態で評価されるとわずかに高級に見えるという評価傾向が出た。そして、平面時でも最もサンプル間で差があった「女らしい-男らしい」の質問項目では、立体時も同様に最も差のある質問項目となつた。

トルソーに着せて立体状態にしたほうが、平面状態と比べて全体を通して評価の値の範囲が広がっている。つまり、女性らしい浴衣はより女性らしく、男性らしい浴衣はより男性らしく見えるということが言える。このことから、トルソーに浴衣を着せた立体状態のほうがイメージ評価をしやすいということが推測される(図4)。

3-5 温泉浴衣サンプルごとの平面時・立体時ににおける平均値の差の検定

各サンプルの温泉浴衣の平面状態・立体状態で女子大生60名を対象にt検定を行った。

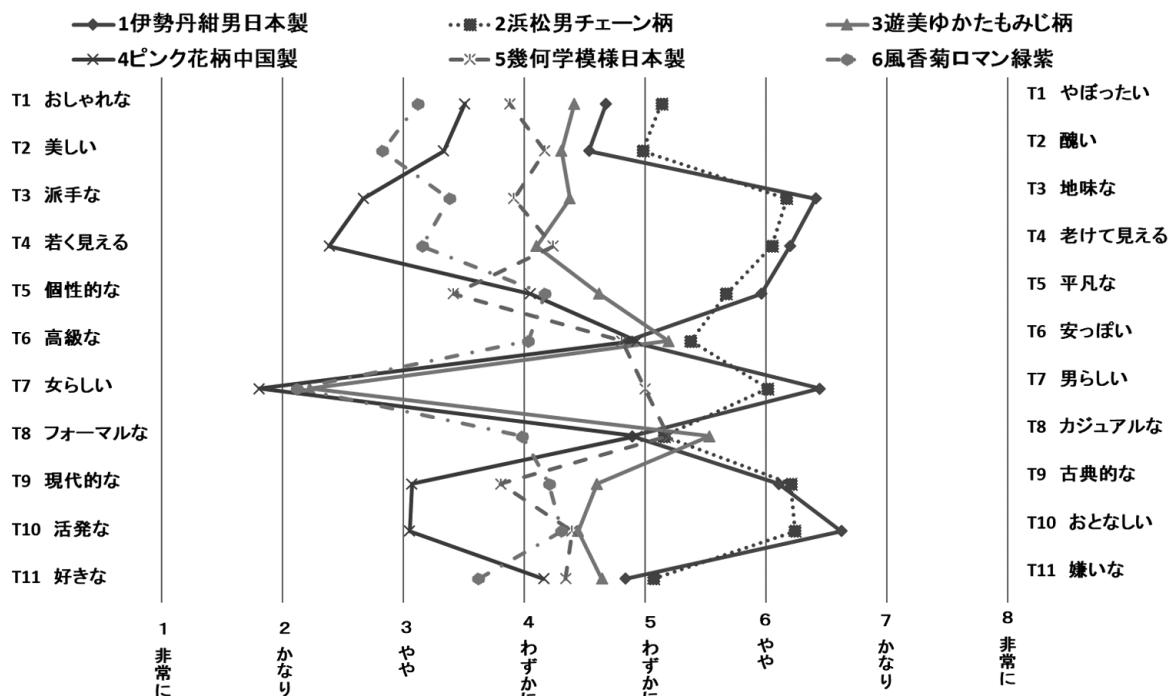


図4 立体状態における温泉浴衣6種評定平均値(T: Torso)

(N=60)

評定平均値 1 に近くなればなるほどそれぞれが、よりおしゃれな、美しい、派手な、若く見える、個性的な、高級な、女らしい、フォーマルな、現代的な、活発な、好きな、という評価になる。反対に、評定平均値 8 に近くなれば、よりやぼったい、醜い、地味な、老けて見える、平凡な、安っぽい、男らしい、カジュアルな、古典的な、おとなしい、嫌いな、という評価になる。

(1) サンプル 1 伊勢丹紺色男日本製の浴衣では、11項目中 6 項目で有意差が見られた。「派手な－地味な」、「女らしい－男らしい」、「活発な－おとなしい」では、0.1%水準で有意差があった。立体時のほうが平面時と比べ、すべての項目について評定平均値が 8 に近づいていることが分かる。有意差のあった項目「派手な－地味な」、「女らしい－男らしい」、「活発な－おとなしい」の中でも、「女らしい－男らしい」では、評定平均値が平面時 (4.48)、立体時 (6.47) と大幅にギャップが生じた(図 5)。

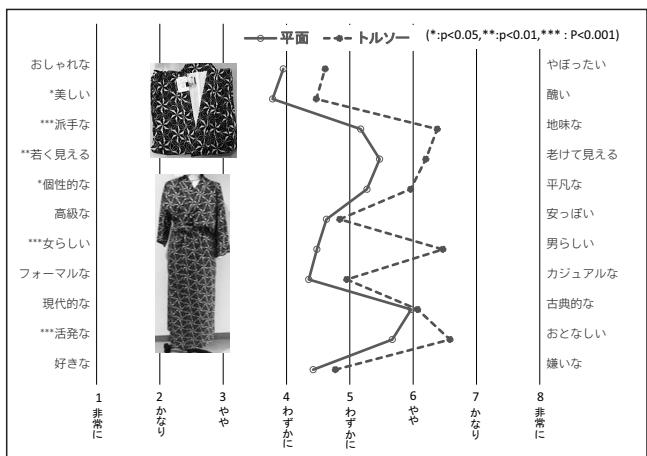


図 5 温泉浴衣サンプル 1 の平面状態・立体状態の印象評価比較

(2) サンプル 2 浜松男チェーン柄では、11項目中 4 項目で有意差が見られた。「個性的な－平凡な」、「活発な－おとなしい」では、1 %水準で有意差があった。「おしゃれな－やぼったい」、「美しい－醜い」、「高級な－安っぽい」の項目では平面時・立体時の評価の差が小さいことがわかる。これは、平面状態でも立体状態でもこの項目についてはあまりイメージの差がなかったことを示している。しかし、有意差のあった項目の中でも「個性的な－平凡な」では平面時 (4.62) 立体時 (5.67)、「活発な－おとなしい」では評定平均値が平面時 (5.35) 立体時 (6.24) と大幅にギャップが生じる結果となった。

サンプル 2 の浴衣は、現在でも温泉施設でよく着られており、従来の日本のオーソドックスなチェーン柄の浴衣である。この浴衣を立体的に着装させたことが温泉施設を連想させ、平凡でおとなしいという印象にさせたのではないかと考えられる(図 6)。

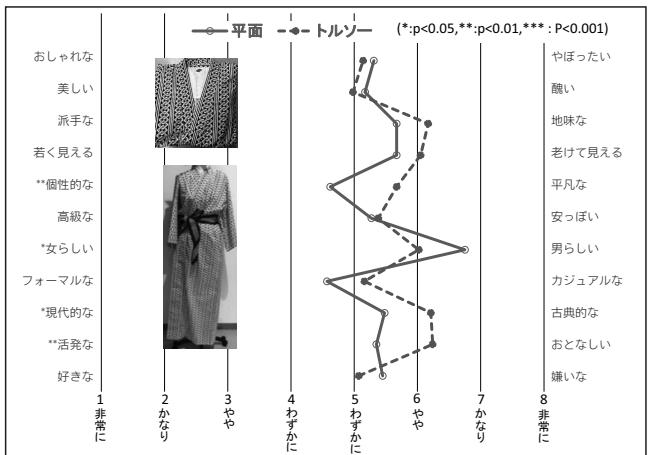


図 6 温泉浴衣サンプル 2 の平面状態・立体状態の印象評価比較

(3) サンプル 3 遊美浴衣もみじ柄の浴衣では、11項目中 4 項目で有意差が見られた。その中でも「若く見える－老けて見える」、「女らしい－男らしい」では、0.1%水準で有意差があった。の「おしゃれな－やぼったい」、「美しい－醜い」、「高級な－安っぽい」の項目では、平面時・立体時の評定平均値の差が小さいことがわかる。これは、平面状態でも立体状態でもこの項目についてはあまりイメージの差がなく、この項目について、評価条件は印象評価と無関係であったことを示している。また、平面時ではすべての項目について、対となる形容語に対して比較的極端に評価されることがなかった。しかし、立

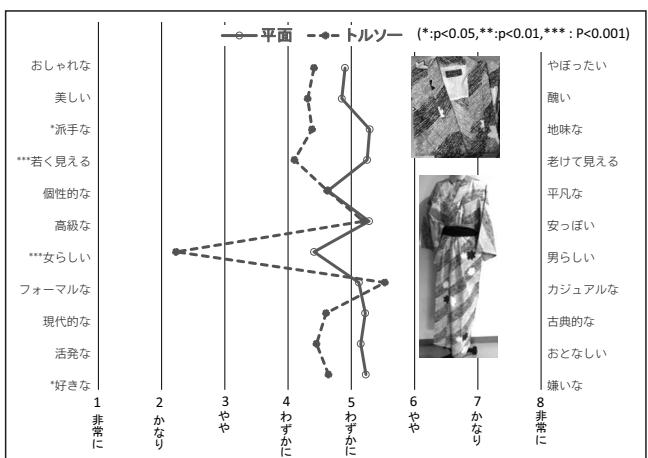


図 7 温泉浴衣サンプル 3 の平面状態・立体状態の印象評価比較

体時になると、「女らしい－男らしい」の項目では、かなり女らしいという評価になった。これは平面時では色と柄でしか評価できず色や柄が中性的と評価されたものが、トルソーに着せると女性的なシルエットで評価できたことが影響していると考えられる(図7)。

(4) サンプル4 ピンク花柄中国製の浴衣では、11項目中3項目で有意差が見られた。その中でも「現代的な－古典的な」では、0.1%水準で有意差があった。「おしゃれな－やぼったい」、「美しい－醜い」、「個性的な－平凡な」、「高級な－安っぽい」、「女らしい－男らしい」、「フォーマルな－カジュアルな」、「好きな－嫌いな」の項目では、平面時・立体時の評定平均値の差が小さいことが分かる。6種のサンプルの中でも平面時と立体時の印象のギャップが最も小さい浴衣だと評価された。その中でも、有意差のあった「現代的な－古典的な」の項目では、評定平均値が平面時(4.12)、立体時では(3.07)とどちらも現代的な浴衣と評価されながらもトルソーに着せた方がより現代的だというイメージが持たれた(図8)。

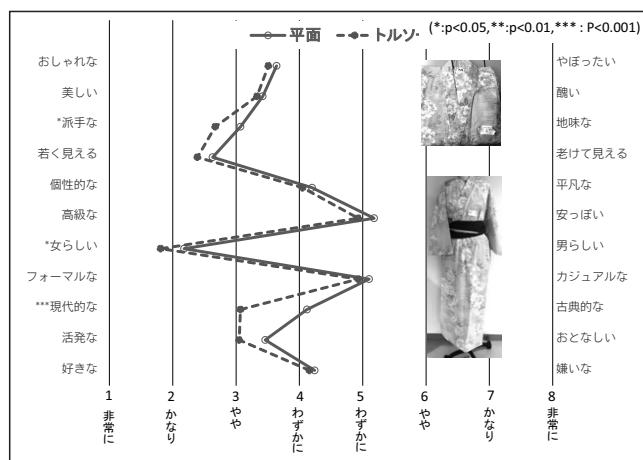


図8 温泉浴衣サンプル4の平面状態・立体状態の印象評価比較

(5) サンプル5 幾何学模様日本製の浴衣では、11項目中2項目で有意差が見られた。その中でも「女らしい－男らしい」では、0.1%水準で有意差があった。「個性的な－平凡な」、「現代的な－古典的な」の項目では、平面時・立体時の評定平均値の差が小さいことが分かる。これは6種のサンプルの中でも最も幾何学的な模様であり、それが被験者に印象づけられることによって、平面か立体かの評価条件がイメージ評価には関与しなかったのだと考えられる。有意差のあった「女らしい－男らしい」の

項目では、評定平均値が平面時(6.32)、立体時では(5.00)とどちらも男らしい浴衣と評価されながらもトルソーに着せた方がより男らしいというイメージが持たれた。(図9)また、5%水準で有意差のあった「好きな－嫌いな」の項目では、平面時では(5.00)とわずかに嫌いと評価されていたが、立体時では(4.34)と嫌いか好きかどちらともいえないような結果になった。これは、トルソーに着せると畳んだ状態よりも少し女らしいと評価されたことと相互関係があると考えた(図9)。

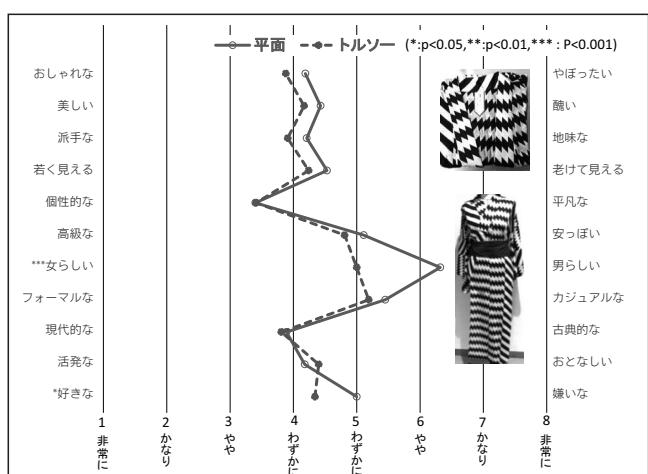


図9 温泉浴衣サンプル5の平面状態・立体状態の印象評価比較

(6) サンプル6 風香菊ロマン緑紫の浴衣では、11項目中5項目で有意差が見られた。その中でも「若く見える－老けて見える」「高級な－安っぽい」では、0.1%水準で有意差があった。すべての項目において、平面時・立体時の評定平均値に差があることが分かる。有意差のあった「若く見える－老けて見える」の項目では、評定平均値が平面時(4.61)

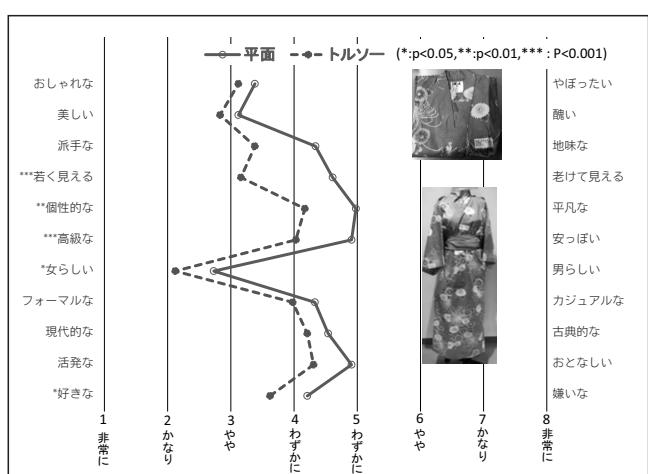


図10 温泉浴衣サンプル6の平面状態・立体状態の印象評価比較

と、わずかに老けて見ると評価されているが、立体時では(3.16)とやや若く見ると評価された。また、「高級なー安っぽい」の項目では、平面時では(4.91)とわずかに安っぽいと評価されたが、立体時では(4.03)とわずかに高級な浴衣と評価された。また、5%水準で有意差があった「女らしいー男らしい」の項目では、平面時(2.73)、立体時(2.12)とともに女らしいと評価されたが、トルソーに着せた方がより女らしく見えるという結果になった(図10)。

IV 結 論

本研究では、11対の形容語のSD法をもって富山大学生124名(男64名、女60名)を対象に浴衣の異なる2つの評価条件による印象評価の違いを検討した。

(1) 浴衣の平面状態と立体状態での印象評価の構造を明らかにするために因子分析を行った。浴衣を折りたたんだ平面状態では『力量性』、『嗜好性』の2因子、立体時では『力量性』、『嗜好性』、『フォーマル性』の3因子が抽出された。平面時・立体時の因子分析をした結果を見てみると、立体時では平面時よりも多くの因子が抽出された。また、平面時・立体時の結果を比較してみると、立体時では平面時よりもさらに『ファッショナビリティ』、『エレガント性』といったデザイン性の高さを評価させるような因子が多くあったことが分かった。これは、平面時に比べ立体時のほうが、被験者にとってより豊かで多様なイメージを持たせたということである。立体状態ではトルソーの女性的な体のラインが出たことが原因として考えられる。

(2) 浴衣を折りたたんだ平面時・浴衣をトルソーに着せた立体時の印象評価を比較するためにt検定を行った。平面時・立体時ともにサンプル4ピンク花柄中国製、サンプル6風香菊ロマン緑紫の浴衣が最も女性らしく、好きな浴衣と評価された。一方で、サンプル1伊勢丹紺色男日本製、サンプル2浜松男チェーン柄が平面時・立体時ともに、最も地味で、古典的な、おとなしい印象の浴衣と評価された。サンプル4ピンク花柄中国製、サンプル6風香菊ロマン緑紫の浴衣は、ともにパステルカラーに花柄という点が共通している。これは女子に好まれやすく、親しみのある色や柄が女子大生の嗜好に関

与してくると予想される。また、サンプル1伊勢丹紺色男日本製の「活発なーおとなしい」の項目では、平面では(5.67)と平面時の中では最もおとなしい印象の浴衣と評価されている。サンプル1伊勢丹紺色男日本製の同じ項目を立体時で見てみると、(6.63)と平面時に比べ、約1近くも平面時を上回る結果となった。また、同じサンプルでも、平面時では評価されなかった項目が立体時では評価された。このことから、サンプルごとに違いはあったものの、平面状態よりもトルソーに着せた立体状態のほうが、よりイメージの幅が広がり、評価がしやすくなったのではないかと考える。

(3) 温泉浴衣各サンプルの平面時・立体時のt検定の結果、最も女性らしく、好き好まれる浴衣と評価されたサンプル4ピンク花柄中国製、サンプル6風香菊ロマン緑紫の浴衣は、6種類の浴衣と比較すると平均値に有意差が見られなかった。このことから、サンプル4ピンク花柄中国製、サンプル6風香菊ロマン緑紫の浴衣は、平面時も立体時もイメージ評価にはあまり変化がないということが分かった。これは、2つの浴衣の模様がパステルカラーで花柄だという共通点から、浴衣が平面か立体かという評価条件よりもその浴衣の色や柄が印象に影響を与えると言うことが示唆された。また、サンプル5幾何学模様日本製の浴衣では、有意差な差が認められたもののうち特に「女らしいー男らしい」の項目では、平面時では男らしい浴衣と評価されたが、トルソーに着せた立体時では、評定平均値が低くなり、平面時よりも、立体時のほうがより女らしい浴衣と評価されるという結果になった。このことから、トルソーに着せるとトルソーの全体のスタイルが見え、シルエットの女性的なラインが現れることで、色や柄、素材に関わらず女性らしく評価されるのではないかと言える。

謝 辞

本研究にご協力いただいた被験者の皆様に深く感謝を申し上げます。本研究は文部科学省科学研究費JP15K00749の助成を受けて実施した。(研究代表者:孫珠熙)

参考文献

- ・小林未佳、吉田藍、金尾佐知子、柚本玲;ワンピースの配色条件による印象評価、繊維

製品消費科学会2016年年次大会研究発表要旨,
25 (2016)

- ・佐藤 克成, 酒見 優子; ブランケットの評価条件がもたらす印象の変化, 繊維製品消費科学会2016年年次大会研究発表要旨, 24 (2016)
- ・孫 珠熙, 中嶋 史央里; 若者の和文化体験からみた温泉浴衣の嗜好傾向, 富山大学人間発達科学部紀要, 11 (3) 39-49 (2017)
- ・孫 珠熙, 金山 夏佳; イベント時の浴衣と温泉宿での浴衣が持つイメージと男女の感性の違い,

繊維製品消費科学会2015年年次大会研究発表要旨, 23 (2015)

- ・孫 珠熙, 馬場 弘朗; 若者の価値観が被服行動に及ぼす影響: 構造方程式モデリングによる検討, 富山大学人間発達科学部紀要, 11 (1) 157-174 (2016)
- ・孫 珠熙; 好みの温泉浴衣の類型化にみる女子学生の装い行動, 日本家政学会誌, 69 (1), 27-36 (2018)

(2017年10月20日受付)

(2017年12月20日受理)

和文要旨

本研究は、温泉浴衣の評価条件がもたらす印象評価を明らかにする。被験者は大学生124名（男子64名、女子60名）で、6種の浴衣サンプル、SD法（11対の形容語、8件法）を基に質問紙調査を実施した。浴衣の印象評価の構造を明らかにするため、因子分析を行った。浴衣を畳んだ状態は『力量性（活動性）』『嗜好性（評価性）』の2因子が、トルソーに着せた状態では『力量性（活動性）』『嗜好性（評価性）』『フォーマル性』の3因子が抽出された。また、浴衣サンプル6種ごとの畳んだ状態・トルソーに着せた状態の印象評価は、両方とも11対の形容語中「女らしい－男らしい」「若く見える－老けて見える」「派手な－地味な」の項目の平均値のギャップが最も大きかった。また、浴衣をトルソーに着せた状態で評価すると全体スタイルの視覚情報が把握でき、浴衣を畳んだ状態よりも印象評価の幅が広がることが明らかになった。